

めざせ 100 か所!

まちなかアートを探してみよう!!



★作品タイトル「Memories | メモリーズ」

ウォールアートプロジェクト

昨年末から今年の春にかけて、都通りの入口の四つ角にあるシャッターアートが約7年ぶりに生まれ変わりました。描いたのは、東多久出身の画家・瀬戸口優子さん。7年前の制作当時、シャッターアート未経験ながら、都通りにある緑色のシャッターアートとともに本作を連続で手掛けられました。そして、今回はお子さんの子育てや個展準備と平行しながら、週1〜2回のペースで制作。唐津に住む同じく画家のお友だちに助っ人として参加で、お魚やお花の位置や全体の彩色など再構成しながら、描かれました。実はモチーフは多久市内のある場所です。実際の場所はどこになるのか、考えながら作品をお楽しみください!



★アーティスト/プロフィール  
瀬戸口優子 (佐賀県)

1986年 多久市東多久町出身。佐賀県立牛津高等学校服飾デザイン科卒、九州造形短期大学美術科卒、佐賀大学文化教育学部美術工芸課程卒。主に人物や植物をモチーフに油絵を描く。最近ではキャンバスに刺繍と油彩を組み合わせた作品を制作中。



★アートのある場所【多久市北多久町砂原（都通り入口）】

#多久市ウォールアートプロジェクト Instagram などでも投稿してね!

(2019年制作 / 2026年3月修繕)

公立佐賀中央病院からのお知らせ

あなたの入院生活を支える、  
もう一人の主治医「病院総合医」がいます。

いくつもの病気や不安があっても大丈夫。  
病全体をまるごと診る医師が、あなたに寄り添います。



▲病院総合医の園田幸生副院長（中央）

こんな時こそ、「病院総合医」の出番です

⦿ 高血圧・糖尿病・認知症など、  
複数の病気が心配なとき

❓ 入院中に困りごとがあるとき

★ 退院後の生活に不安があるとき



7人 公立佐賀中央病院には、心強い病院総合医がいます

心身の困りごとは一人で抱え込まず、ぜひ病院総合医にご相談ください。入院から退院後まで、あなたの身近なパートナーとして伴走します。

「なにかあったら、公立佐賀中央病院へ行けば大丈夫!」



▲病院総合医と病院スタッフの情報共有のようす



としよかん de シネマ【映画上映会】

「ラーゲリより愛を込めて」を開催します

多久市立図書館

みなさんのご参加を、お待ちしております

第二次大戦後、零下40度の厳冬のシベリア。強制収容所（ラーゲリ）で山本幡男は、日本にいる妻・モジミや4人の子どもと共に過ごす日が訪れることを信じ、捕虜仲間を励まし続けた。帰国を信じる幡男だったが、その体は病に蝕まれ…。再会を願い続けた2人の11年におよぶ愛の実話。

日時：7月18日(土)  
13時30分～15時50分（開場13時～）  
会場：多久市中央公民館 大ホール  
申込・参加費：不要

問 多久市立図書館 ☎0952-75-2233

